

事務事業評価における総括

部 局 名	消防本部	記入責任者	小澤 幸雄
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>消防本部の評価対象となる政策的事業は 25 事業です。そのうち 13 事業で「S」評価、9 事業で「A」評価と全体の 88%を占めていることから、おおむね順調に進捗しています。残りの事業については、「実績なし」となったものが1事業、計画はあったものの未着手となった「Z」評価が2事業となっています。「S」評価以外の事業は、継続性を要する事業や、実施時期及び実施方法の調整を図るなど庁内連携を進めることで成果の見込める事業と判断できますので、これらの事業においても継続的に取り組む必要があると考えています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>「Z」評価とした、消防総務課の「消防防災フェスティバル実施事業」につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、参加者の健康と安全を最優先に考え中止としました。今後の実施方法について新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等を踏まえて、検討して行く必要があります。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>消防本部では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、「未着手」や「実績なし」となった事業はありますが、全体的に見て事業は順調に進んでいると評価しています。進捗が順調な事業及び新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に資する事業については、継続して成果を出していくとともに、目標に至らなかった事業については、必要に応じて事務改善や関係課かいとの連携を密に行いながら円滑に事業が実施できるよう取り組みます。</p> <p>令和 4 年度から開始となる寒川町との消防広域化については、綿密な準備を行い円滑に体制が移行できるよう努めるとともに、安全で安心なまちづくりを担う部局として火災による被害の軽減を図り、市民サービスの向上に努めて参ります。</p>			